

## 真空脱ガス炉 SBF-300CA



真空脱ガス炉SBF-300CAは成型部品の真空加熱を目的とした装置です。最高加熱温度は300℃まで短時間で昇温可能です。炉体有効寸法は約1m<sup>3</sup>クラスありますので、大型の成型部品も処理可能です。加熱制御は、上面・左右側面・前後面・下面各々コントローラーで制御可能です。本装置はライン工場向けに開発された装置で、加熱&排気操作は全自動型。設定温度とタイマーを設定するだけでどなたでも簡単に操作することが可能です。排気系にクライオポンプを採用しておりますので、高真空領域までの排気時間が大幅に短縮されます。

### 真空脱ガス炉SBF-300CA仕様

- 到達圧力 ×10<sup>-4</sup>Pa以下※300℃時
- 最高温度 350℃
- 有効寸法 1372mmW×795mmD×1465mmH
- 加熱機構 マイクロヒーター×6面
- 加熱制御 サイリスタ制御  
PID方式温調計
- 真空排気系 ドライポンプ:2400L/min[50Hz]  
クライオポンプ:29000L/sec(H<sub>2</sub>O)
- 真空計 大気圧検知器/ピラニ真空計/電離真空計
- 操作方法 自動/手動切替スイッチ  
自動(全自動運転・大気開放)  
手動(各ポンプ電源・各バルブ開閉・加熱電源・真空計電源)  
クライオポンプ再生機構  
タイマー(KEEPTIME・DOWNTIME)
- ユーティリティ電気:AC200V三相40KVA AC100V単相10A  
冷却水:18L/min以上0.1MPa以上0.15MPa以下25℃以下循環  
計装エア:0.5MPa以上  
設置寸法:2600mmW×3800mmD×2100mmH
- オプション ハイブリッド記録計